（十日夕刊）

休刊日　毎月第一・第三日曜
定價　一ヶ月　郵税二錢　一部　六十錢　十五錢
廣告料　壹行六十錢指定廿錢
福島縣平町田町十六番地　發行所　磐城新聞社
發行人　沼田鶴輔
電話五六四番

不具者の立場から（五）

草野村　富岡武夫

強いて辯ずるならば僅かに極めて不安全な聾唖學校が若干存在するに過ぎないのであります

況んや彼等に對する職業指導その他律保護の如きは未だ一指も染められてゐないと云ふのも過言ではありません

教育家よ、教育は耳の聞えるものにのみ教へるのが當然であるまい

法律家よ政治家よ社會政策家よ、四民平等の虚名の下に不具者を徒らに冷酷なる現實の魔手に委して置く道理があるまい

宗教家よ、たんみ等は雖式の慕守やお祈りをするばかりが能ではあるまい

こゝに不完全な肉体を抱き悲惨なる窮迫と云ふべからざる侮辱とに甘んじつゝ何等希望なき生活をあへぎつゝ送らねばならぬ數萬の同胞　存在してゐる事を忘れてはならない

宗教家よ教育家よ政治家よ法律家よ社會事業家よ、諸君　手は正に「れ等のと差しのべられねばならぬ」こゝ　於て私は彼等に專諸君の正しき批判を希　併し諸君の正しき批判ものであります

聾唖者に對する教育施設遺憾に全國的に完成せず

聾唖者に對する特別職業機關を設置せよ

聾唖に保護の社會的立法即時公布せよ

こそ現代文明がその故に當然荷負はねば義務であります

記、私は新聞社の御諮問によってつまらない意見を發表しました、内容になって居りませんので恥しい次第です、そして居るものぢや決して怪しいものではない、御存じらはお打ちあけ下されいと思ひますどうぞ私宛直接に願ひ致します）

十四五才のもの
徒弟入用
——示時正確に——
高橋時計工作所
平町土橋通り

▲一白　妄挙を戒み努力を惜まざれば大吉日となる▲二黑　何事にも手堅く一歩一歩と進むが安全の日▲三碧　投機心を起さず空想に耽らず當業大切の日▲四緑　依頼心を去り己が力を以て焦らず進むに吉▲五黄　慾

※……明日……※　二月三十日　新月
※……吉の凶……※　暦二月一日　暦一日

幕末奇傑　高山彦九郎

（83）

布施長春作

西洋々作

講談

假初の宿（八）

隣室

彦九郎は更　せき込んで　ねました。

一揖者は、菅茶山先生を訪ねて居るものぢや決して怪しいものではない、御存じらはお打ちあけ下されいます……」

「おゝ、ごもっとも、思ひまどよ風にい」

だが、妻女ば、どう答へたものか、思ひまどよ風にい」

茶山は、除ろに身を起しながら。

「只今、御挨拶申し上げる故、しばらく、お待ち下され」

「いゝね、そうぞ、そのまゝに……」

あわてゝさへぎらうとするのを。

「いや、大事ムらぬ」

茶山は、注水の助けをかり乍ら床の上に身を起しました。

「病氣と申しても、唯ほんの熱があるといふ程のことでござる故……」

云ひ譯のようにさう云つて、腰を据ゑました。

「いや、御無禮いたした」

やがて改めて、さう禮を返して。

「身共が茶山でござる、御見知り置き下され」

「これは申し遅れました」

彦九郎も、改めて自分を紹介致しました。

「唯今、あなたさまのお言葉をきゝなされ、た目にかゝらるゝと仰せられます故、私ごとは、上州新田の産高山彦九郎正之と申します病室で失禮ではムいますが、この度、京都在住の皆川先生に云ひつけに依りまして、先生をに訪ね致す道すがら、はからずも、こゝに目にかゝるを得ず望外の歡びにムります」

「ほゝた、それでは身共をお探ねの途中でござつたか……」

「はい」

彦九郎は、懷中から、皆川淇園直筆の紹介狀と、要件を認めた親書とを取り出して。

「謹しくはこれに認めてございます故、何卒御披見下さりまするよう」

相手が病に伏してゐる人でありますから、多くを云はず、と思つて、その親書を差し出しました。

「ほゝお、皆川氏からとな」

その裏をかへし讀み乍ら流石になつかしさうな微笑みを浮べて茶山はその書面を開きました。

カバンと帽子
入學進級には
ゼヒ「ツルヤ」へ
新しい丈夫な品が
得られます
平町四丁目
ツルヤ
電一四〇

開業廣告
今般左記ノ通リ開業致候間此段及謹告候
昭和五年三月一日　敬具
宅診 往診　時間午前七時より午後十時迄
但し急患はこの限りにあらず
◎專門　内科一般
平町南町六五（元大和田耳鼻科跡）
川井内科診療所
電話七二二番
醫學士　川井重之
女醫　川井安子

第三十一回　生徒募集
△募集人員　八十名
△修業年限　兩科を通じて一ヶ年
△入學資格　（高等小學校卒業若しくは之と同等の學力あるもの）（無試驗入學を許す）
△願書提出期間は四月八日迄
△寄宿は自炊の便あり
平町一丁目
石城産科婦看護婦學校
校長　鷹崎千代
電話（三七五番）

サロンのバーには
何時も生ビールがあります
毎日變つた佛蘭西料理の御獻立をして御座います
ドーゾ御試食を……
田町松月堂隣り
美味で評判のきもちよい　サロン
電話三五二番
男、女給仕人數名募集

平町田町
高久病院
電話五一三番
醫學士　高久忠清
新潟醫學士　赤羽清雄
藥劑士　佐竹菊雄
内科　小兒科
外科　花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

◎診療開始
耳鼻咽喉科專門
日本醫大醫學士院長　鈴木正男
齒科口腔外科
日本齒科醫學士科長　高橋正永
◎晝夜診療
下谷區入谷町二九一
入谷改正通り東交番前六間通り
鈴木醫院

貸地廣告
平町郡役所より税務署附近の新開地に五百餘坪の貸地があります、然かも完全な土盛でありますから流失其の他の憂ひ絶對になく商店、諸工場並に高級の住宅地として最もの適地を極く安値にお貸しいたします
御希望の方は電話なり或げば社員がに伺ひして詳しく御相談に應じます
小名濱商事株式會社
平出張所
電話六〇三番　五四一番

セイコー時計の値下斷行
景品は特賣
金解禁と…國産品の愛用…
景品總額金拾貳萬圓
景品内譯
一等　蓄音器壹台　三百六十本
二等　置時計壹ケ　五百本
三等　置時計壹ケ　一千本
四等　目覺時計壹ケ五　千本
五等　特製ナイフ　全部へ
時計は信用ある精工舍製品を
平三
特約店　大谷時計病院
電話十九番

婦人病には美神丸を
こんな徴候の人は
一時も早く治療すべし
血帶下赤帶下コシケ多き人
下腹痛く節張り又はつる人
子宮冷込、腰脚の冷ゑ又は痺れる人
月經不順月經時に腹の痛む人
神經衰弱ヒステリーの人
月經時の前後に白粘つたこしけが下る人
子宮痲毒尿意頻の人
子宮痒く糜爛出血する人
局部惡臭かゆき人
逆上、頭痛、耳鳴、眩暈する人
肩が凝又は背が痛む人
流産、早生する人
美神丸の主治効能
白帶下　子宮内膜炎　子宮痲病（消渇）子宮出血　子宮痙攣　子宮糜爛　月經不順　陰門惡臭　子宮下ゝ及ゆがみ　肉腫痲毒に起因する不姙症等不妊症（愉よきを知らぬ病）
一日藥價僅か五錢の
自宅療法
救世の婦人藥
美神丸は（安價、簡便、卓効、秘密の）（四つ揃つた理想藥です）
定價表
一週分　四〇
二週分　八〇
五週分　一、八〇
十週分　三、五〇
平町五丁目角
地方代理店　山野邊藥局
一町一村に一特約店を募集す
速刻希望者は申込あれ

暖爐界之征服者
ネンシヨウストーブ
經濟的連續完全燃燒
消費節約
火防衛生
優美堅牢
簡便を欲せらるゝ御方は是非御試し下さい
御請求次第カタログ進呈
釜屋商店
電話九一三九番

常磐炭の運賃は年に六百萬圓

是非値下げして欲しいと 炭礦側が運動

常磐地方各炭礦は殊に財界不況の昨今に處し市場並に需要先きの販路開拓に全力を擧げてゐるけれども北海道九州地方石炭の爲め需要先きの地盤を蠶食され遂年不利の地位に追ひ詰められて行く狀態である、而して常磐炭が炭價の點に於て北海道九州炭に比し高値である最大の理由は北海道、九州炭は運賃の低廉な船舶によつて輸送するに比較し常磐炭は必ず鐵道輸送による外なく運賃の點に於て既に多大の損失を免れない、小名濱商港の速成實現を曉望したのも是れ等炭礦振興の目的か一大眼目であつて事は勿論であるが民政黨内閣の存續する限り當分は望みない有樣である、水戸運輸事務所に於ける一箇年の運賃收入は一千萬圓にして内石炭輸送賃のみで六百萬圓に達してゐる所より見て殊に炭界不況の折柄炭礦會社負擔も輕からぬものがあるので常磐炭礦では代表者を擧げ水戸運輸事務所に向つて運賃値下げの運動をなすことなつた

植田町豫算 四割緊縮

合計約四萬圓

植田町五年度歳入出豫算は經常部二萬九千十七圓臨時部九千百十圓合計三萬八千七百二十七圓でこれを前年度に比し二萬五百六十圓約四割の大削減である經常部の重なるものは

役場費一千八十圓減、小學校費一學級を減じ即ち二千四百三十一圓減、警備費二百四十八圓減、諸稅の負擔千三百二十一圓減じある

尚一戸當り負擔は十三圓二十九錢强で昨年の十八圓十三錢に比し四圓七十四錢弱の減といふ徹底した大緊縮振りである

店員が自發的に勞銀一割値下

不況の店を援くべく 平町の勞資美談

平町四町商宮運送店では打續く不況の爲め近來荷物發着が三割以上減少を示し經營益々困難に陷り收支相償はない狀態にあるので同店の從業員二十名は非常に店主に同情を拂ひ去る一日以來寄々會合し店の窮狀を救ひたいと協議を進めて居たが結局日給最高一圓五十錢最低一圓三十錢の内約一割を自發的値下げして店主を援ける事に決し交渉した處店主に非情に感激し申出て通り日給一割を平等減額する事に決定したが不況が產んだ近來事業界の美談として各方面から賞讃の聲を受けてゐる

民政同志會發會式

廿三日平町で

平町民政黨中堅の少壯者は益々黨の結束を堅め黨の内部を攪亂する如き一部者流に對抗し黨本來の使命を完ふす爲豫ねてより平町民政同志會なる結社の組織に向つて寄り〳〵協議中のところ

平町民政黨の少壯者は書で申告させる事となり、驛待合室に投書函を備へて申告用紙をつり下げたがどんな投書があるか驛員は頸を長くして期待してゐる

小川の開票場を四倉に變更希望

選擧毎に起る輿論に 町村長會で騷ぐ

石城郡下小川村開票區の各町村は豫ねから開票所の變更四倉町方面に移轉すべく町村長支會の開き見て本案を議し縣に申請許可を受くる筈である

平救世軍小隊 平町救世軍平小隊長山田すゞ子大尉山本虎伊氏等一行尚ほ小隊は從來の六丁目から白銀町九番地に移轉した

平町水道の後任課長

十五日頃に決定

平町上水道起債は來る二十日頃までには認可となるので平町では種々準備をすゝ

平町山羊の一家

毒殺事件の眞相？

平町磐城共濟病院の門口で毎日白い細いそして長い愛嬌顔を動かし可愛角をふりながら附近の坊ちやん嬢さんの御機嫌を取つて居た白山羊の家族は二三日この方悲慘な運命の襲擊を受けつた。

◇

六日頃から二三日の間にこの山羊の一家族六頭のうち或ひは私憤あるものがいたづらに殺したのだらうとか即後して死亡した、この山羊の家族はモルモットの一族と共に同病院にあつて月に六回人のために尊い生命を果して居る大事な一家なので忽ち色んな噂が傳はつた。

◇

山羊を殺して病院の邪魔をしやうとしたのだとか、

◇

毒殺、全く毒殺には違ひなかつたが取調べの結果は毎日遊びに來て居た坊つちやんや嬢ちやん方が可愛さのあまり御自分のを折角我慢して與へたおまんじうのめんが白山羊の命を取つたと判つたのであつた、これをきいた坊つちやん嬢ちやんはすまないことをしたと

にしても山羊の死は毒殺の疑ひ充分で山羊が次々と發病するとすぐ重態になり、折角先生方が人間に施すやうに服藥や注射をしても彼等はたちまち死んで行つた

◇

山羊は草や紙を喜んでたべ小豆あんをたべさせると大變悲しんで居るとのこと

◇

たちどころに死ぬのださうである、同病院では開業の際一夫婦の山羊を飼つたのが殖ねて六頭の大家族になつたのであつたが今は雌二頭と生れたばかりの仔山羊一頭の淋しい家庭になつたので病院ではしばらくの間裏庭の方に引越させるもの居たが九日同村上谷巡査に捕まれ引續き嚴重な取調べを受けてゐる

玉川の賭博

石城郡玉川村大原箱崎種吉(六九)小野磐(三五)鈴木兼次郎(四五)は九日午後七時頃同字高岡淳一郎(五七)方に於て花合せ賭博開帳中平署員に踏込まれ逮捕された

平商校卒業式

平町平商業學校の第十回卒業認書授與式は十二日午前九時より執行ノ筈

内郷の小賊

平署で取調べ中

石城郡内郷村高坂草野義一(三三)は去る一日福島刑務所を出獄以來同村字磐城炭礦内に潛伏し小窃盗を働いて居たが九日同村上谷巡査に捕まれ引續き嚴重な取調を受けてゐる

入山軍人行軍

十日高野方面へ

湯本町入山採炭會社内入山在郷軍人分會員二百餘名は今十日の陸軍記念日を下し門井分會長引率の下に演習村高野方面に行軍した

蓮沼氏上京

本社副社長蓮沼龍輔氏は今十日午後一時平發にて上京三四日滯京の上歸平の筈

四倉組頭會

四倉署管内消防組頭會議は九日午前九時より四倉署樓上に於て開催

四倉軍人會

七濱の漁業視察

四倉町軍人分會では今十日の陸軍記念日を下し會員三名總計七百十三名で前年比較すると男四名減女七十二名增差引六十四名增である

誰何された不審の少年

九日午前零時ころ平驛前に於て青年訓練所の服裝をなした擧動不審の青年あるを平署員が認め誰何すると一目散に逃げ出したので追跡逮捕したこの者は秋田縣牛島伊藤金次(一九假名)と

女が減法に增加

今年七十名殖ねる 平町の就學兒童

平町では來る四月一日を以て入學せしむべき學齢兒童數を調査中であるが三月一日現在によると本籍男百八十四名女百九十九名計三百八十三名寄留男百五十六名女百四十四名計三百名合計男三百四十名女三百四十三名總計七百十三名で前年比較すると男四名減女七十二名增差引六十四名增である

久保町で六才の少女

自動車に轢る

平町二丁目三井自動車運轉手猪狩正(二四)は今十日午前九時平署に呼ばれ何か犯罪があるらしいと

記者募集

記者 一名

右至急募集す、中學三年修業程度の學力を有し身體强健、新聞記者生活に趣味を有するもの(但し平町居住者に限る)履歴書持參本人午前中來社あれ委細面談

磐城新聞社

酌婦になるのが嫌で平署へ保護願ひ

哀れな十七娘

平町鍛冶町吉田伴吉方女中十七時ころ平人事相談所に救ひを求めたが同人の實父孫太郎假名がちよが年頃となつたので酌婦に賣飛ばそうと甘言を以て連れ出し孫中因果を含めて無理に承諾を求めんとしたのでちよは非常に驚き父の手を振り切つて逃げ出した事判明し所では實父を呼び出し嚴重說諭を加へ娘に伴吉方へ引取らした

平町小學生の就職希望

男女百五十名

平町第一、第二小學校高等科を本月末を以て卒業する兒童約二百五十名中平職業紹介所を通じて就職を希望するものは男子百四名女子百四十名計二百四十四名計三百名合計男三百四十名女三百四十三名總計七百十三名で前年比較すると男四名減女七十二名增差引六十四名增である

激浪に呑まれ漁夫二名不明

死體發見されず

石城郡勿來町字九浦、漁夫渡邊勇三(四六)同淺沼靜(三四)の兩名は傳馬船に乘つて八日午前五時ころ同郡植田町渡邊勇三(四六)同淺沼靜(三四)の兩名は傳馬船に乘つて八日午前五時ころ同郡植田町海岸で漁同九時と共行方不明となつたので皮切り管内二十四箇所に捜索を開く映畫は消防隊その他

運命を豫知する者(下)

染川光一郎

科學意識の旺盛な時代にはやはり偶發的な觀念的な神秘的な愚夫愚婦のみを首肯せしむるに足る樣な豫知法は自然蔭がウスイ譯になる。

今日最も多く利用せられ今日迄傳つたものに周易があん事は申す迄もなく明瞭である。これに永い年代の經驗と火風水雷等の起り來るのを自然科學の理に依て考案して出來たもので、自然法則を解說して人間生活に役立つ樣に文辭を附したものが易だから人生の變轉一切は手に取る如くに知悉せらるゝのである。

然るに從來易理の應用が占筮のみに賴られて居たのである。生々しい現實生活の中で現在意識の活動を皆無にして潛在意識のみの活動する一刹那に握り分ける等といふ藝當は殆ど人間業とは云はれない、故に當る も八卦當らぬも八卦といふ有難いに言葉を頂戴したのである。元來自然科學の變化を理論的に組織せられたものに偶發的な應用を試みその人の運命に影響を與へたからで易の應用法は科學的理論的にするのが本條なのである。

即ち現代に於て易學革命の炬火をかざし斷然知識階級の間より絶對的支持を受けつゝ常磐地方に迄宣傳せられつゝある易理應用の運命學が起つたのである。

先天的素因を持つて生れた人々は彼等を辨別する爲に氏名か附せられ、その名は呼び聲として耳より文字を入るのでなく誰も大小の迫害はまぬがれないが天地自然となつて一生を活動するの理法に適應する性名が自然に抵抗力免疫力を有し不

文字あれば數あり數あればその數的組織が變化あるは易理の示す所である。

この性名の數的組織を易理に當て大家は國の盛衰小は一身一家の榮古變轉を具體的に指示し之に發音の組織と先天的素質とを綜合して凡てわ相對的に觀察する爲て行はれるのである。

勿論人は只一人社會に居なければならぬ樣に人間業は冷かに的確にはたらく、今こそ運命は豫知せらるゝ。

この右の方法もその範圍に於て行はれるのである。認めない者にも認めない者にも

浪界の一人者 木村重友師一行 近日來る

吉川小虎丸特別出演 平町重友後協會

浜田外科醫院
特賣!!
たひら正宗 福島縣清酒品評會一等賞受領
春花 同優等賞受領
醤油醸造元 鹽屋 山崎合名會社
電話一〇番
入院隨意一日數十錢!
X光線科 外科專門
平南町 上田外科醫院
電話一二九
增築落成 病室完備
内科、小兒科 市原卯太郎
外科一般、婦人科 市原陸郎
外科、梅毒、淋疾 市原三三男
皮膚病
平町田町本通
市原醫院
(入院隨時 電話一一四番)
平町紺屋町 吉田眼科醫院
夜診
胃腸科 内科 二十指腸虫病
專門 内科部
淋病 梅毒 皮膚病
專門 外科部
松村婦人病科醫院
(平南町電話一〇七番)